

平成25年度

読書サークル合同読書会を開催しました！

- 開催日時 平成26年2月16日(日)
- 開催場所 豊橋市中央図書館 3F 第2・3会議室
- 課題図書 『あすなる物語』 著者：井上靖
- 参加者数 14名

読書サークル合同読書会が2月16日に開催されました。今回は、井上靖の『あすなる物語』を課題図書とし、読書サークル会員の方など計14名が詩情豊かな名作の世界を味わいました。

この作品は豊橋にもゆかりのある井上靖の自伝的小説と言われ、伊豆で過ごした少年時代から北国の高校で青春時代を過ごした主人公が、長い大学生生活を経て新聞記者となり、やがて終戦を迎えるまでの道程を6人の女性との交流を軸に描いています。

読書会では「タイトルは知っていたが、実は初めて読んだ」という方、また「若い頃は良さがわからなかった。今回読み返したら、思いがけず感動した」と話してくださった方、逆に「昔とても感動したので楽しみにしていたが、記憶の中の印象と違っていた」と首をかしげる方など、参加者の反応はいつも以上に様々でした。「少年から青年に成長する男性の心理が描かれており、新鮮に感じた」（女性）、かと思えば「起承転結がはっきりせず、わかりにくい」（男性）など、男女の受け止め方の違いも見られました。

その他にも「久しぶりに読んで、この作者をとっても好きになった」「違う作品も読んでみようと思う」「ぜひ若い人にも読んでもらいたい」など、今後の広がりを感じられる言葉も多く聞かれました。

作家の宮本輝氏はこの作品を読んで小説とはなんと素晴らしいものであろうと感動し、それから古今東西の多くの小説を読みふける時期を持ったそうです。「自分が小説家になったのは少年のときに『あすなる物語』を読んだから」と、その著書で語っています。（『真夜中の手紙』）

思いがけない本との出会いも読書会の魅力のひとつです。興味をお持ちの方はぜひ一度、参加されてみませんか？ 新しい楽しみが見つかるかもしれません。



会長あいさつ



読後感を分かち合う